

私の治療カルテ

—大腸連携パス—

(術後フォローアップ)



あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — —)

大阪医科薬科大学病院 一般・消化器・小児外科

電話 072-683-1221 (代表)



はじめに

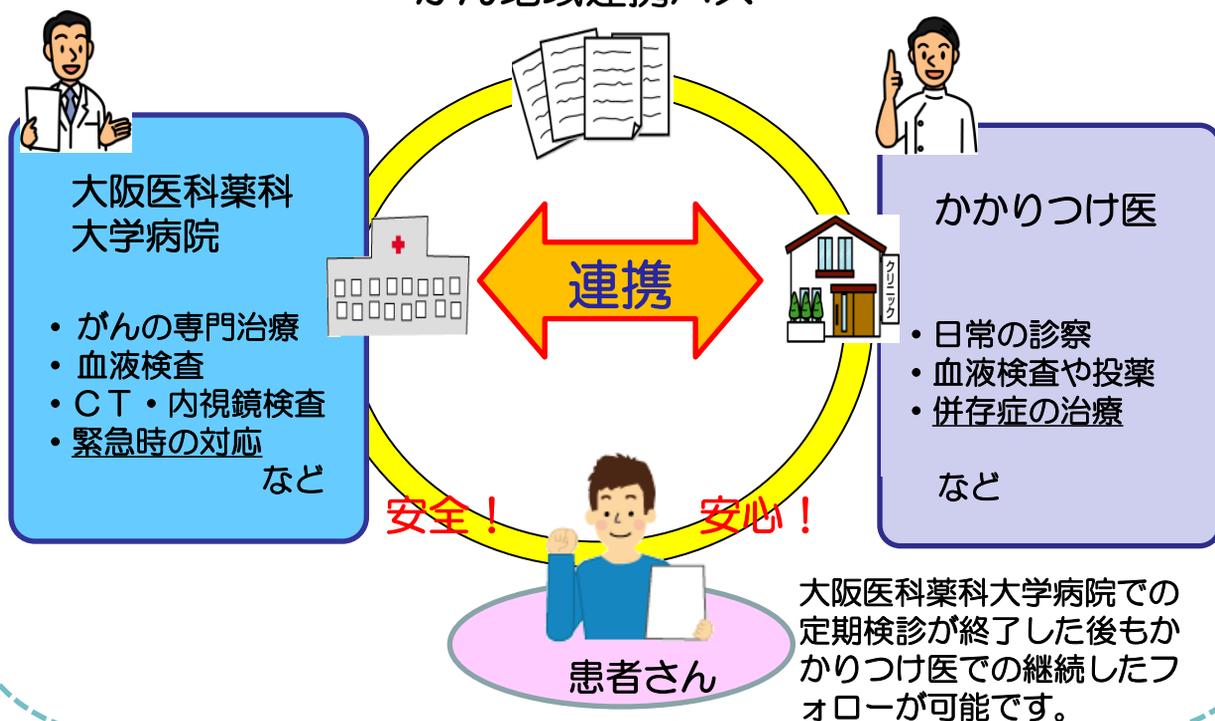
『がん地域連携パス』とは、手術などの治療後に、大阪医科薬科大学病院の主治医と地域のかかりつけ医（診療所）が、あなたの治療経過を共有するための「治療計画書」のことをいいます。

この治療計画書『がん地域連携パス』に沿って、二人の主治医の先生が、あなたの治療経過をサポートします。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は大阪医科薬科大学病院が行います。

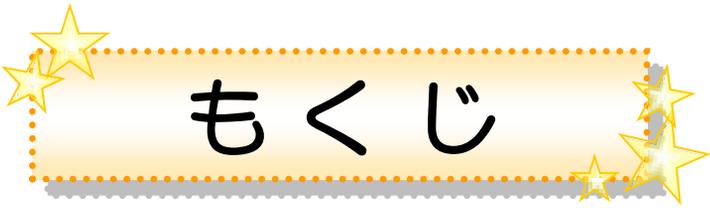
【病院とかかりつけ医の役割】

がん地域連携パス



メリット

- ① 通院の負担（外来待ち時間や長い通院距離）を軽くします
- ② 併存症の治療も、情報を共有することで安全に受けることができます
- ③ 緊急時は大阪医科薬科大学病院に紹介され、診療を受けることができるため安心です



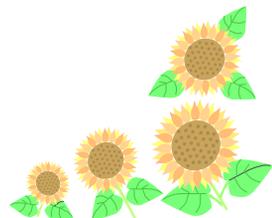
もくじ

 退院後の日常生活 : p.3

 退院後の食生活 : p.4

 症状チェック表 : p. 5～ p.7

 大阪医科薬科大学病院 相談窓口のご案内
: p.8 ~ p.9



退院後の日常生活

🔔 手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下，それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、多くの場合術後1～2ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

🔔 社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2～3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。



退院後の食生活



🔔 食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、術後3ヶ月間は、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



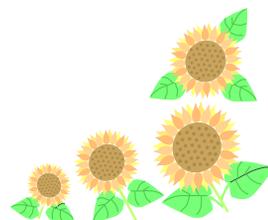
🔔 注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分を多くとるようにし、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せず、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続き、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。



術後の治療計画

○・・・実施予定です。

	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院
		半年		1年		1年半		2年
	/	/	/	/	/	/	/	/
問診触診	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
CT検査		○		○		○		○
大腸内視鏡				○				

	連携医	病院	連携医	病院	連携医 または 病院	病院	連携医 または 病院	病院
		2年半		3年		4年		5年
	/	/	/	/	/	/	/	/
問診触診	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
CT検査		○		○		○		○
大腸内視鏡				○				

※状態に合わせて検査を追加することがあります。

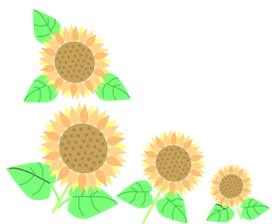
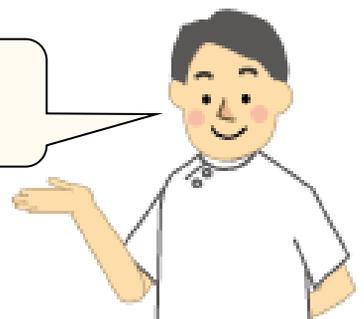
症状チェック表

受診前に自覚症状のチェックを行い、この表に記入しましょう。

	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院	連携医	病院
		半年		1年		1年半		2年
体重	kg							
腹部の症状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							
便通の異常	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							

<メモ>

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

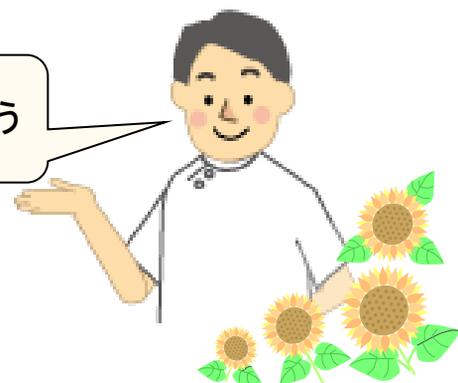


症状チェック表

	連携医	病院	連携医	病院	連携医 または 病院	病院	連携医 または 病院	病院
		2年半		3年		4年		5年
体重	kg							
腹部 症状	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							
便通 異常	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							

<メモ>

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



大阪医科薬科大学病院 相談窓口のご案内

🔔 がん相談支援センター

患者さんに安心感を持って療養していただけるように、がん相談支援センターにて、がんに関する相談をお受けしております。

当院に入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して温かな医療・看護が受けられるよう、医師または看護師など院内のスタッフとの連携はもとより、地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら、より満足度の高い療養生活と充実した日々を送っていただけるように支援を行っています。

相談時間

月曜日～金曜日 9:00～16:00

第1・3・5土曜日 9:00～12:00 (土曜日は完全予約制)

(但し当院の休診日はお受けしていません。)

予約方法

電話またはFAXにてお申し込みください。

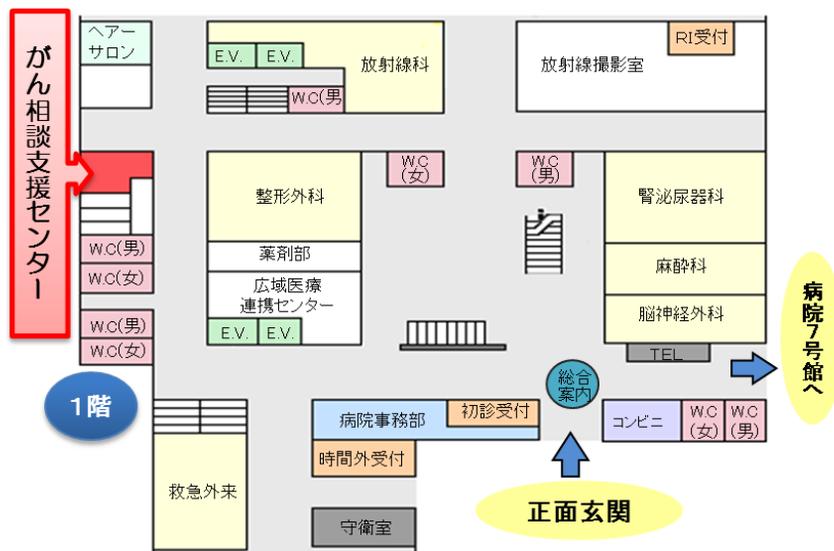
電話：072-683-1221 (代表) 内線2095

FAX：072-684-6221



※土曜日は完全予約制です。

※予約優先としますが、予約がない場合でも時間に空きがあればお受けしております。



再診予約変更

消化器外科外来に電話してください。

午後3～4時の間に予約の取り消しや変更を承ります。

なお、検査によっては予約の変更はできませんので、その場合は、直接来院のうえ、ご変更ください。

電話番号：072-683-1221（代表）（内線2341）

夜間・休日などの対応

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診できないときは、大阪医科薬科大学病院までご連絡ください。

電話番号：072-683-1221（代表）





大阪医科薬科大学病院

電話番号 072-684-1221(代表)

平成27年11月